本学図書館の貴重書

『デカメロン』
ボッカッチョ

ジョヴァンニ・ボッカッチョ（1313-1375）はイタリアの作家である。フィレンツェで生まれ、同地で没した。裕福な商人であった父親は、商業の見習いのため 1327 年に彼をナポリに行かせた。当時のナポリは文化的に栄えており、ボッカッチョはそこで文芸を志し、1341 年にフィレンツェに戻った。

『デカメロン』は 1349 年から 1353 年頃にかけて執筆され、1469 年から 1470 年に刊行されたと考えられ、その後多くの写本や印刷本が出版されている。本書は、1348 年にヨーロッパ中に流行したペストを避け、フィレンツェ郊外の別荘に逃れた 7 人の淑女と 3 人の紳士が、退屈まぎれに各人 1 日 1 話の割合で 10 日間、計 100 の話をする談話形式の短編小説集である。14 世紀のイタリアの生活が余すところなく描かれたルネサンス文学の代表作の一つであり、ダンテの『神曲』に対して『人曲』と呼ばれた。ボッカッチョは自然主義文学とイタリア散文小説の父と呼ばれている。

本書は、1527 年にフィレンツェで印刷・出版業を営んでいたジュンタ家によって印刷されたもので、一般に「1527 年版」と呼ばれている。

『洋書百選』（1972 年本学図書館刊行）より抜粋、加筆